



2019年度年間活動報告書

2020年6月30日

NPO法人ケイロン・イニシアチブ

郵便番号153-0041 東京都目黒区駒場1-44-14-1001

info@cheiron.jp

<https://www.cheiron.jp>

2019年度年間活動報告書発行にあたって

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。NPO法人ケイロン・イニシアチブは、「研究者と家族の想いを世界の未来とつなぐ」を合言葉に、研究と家族を取り巻く社会的動向を重ね合わせた新たなサイエンス推進のビジョンを共有する国内外の行政、アカデミア・企業の研究者、研究助成機関、学術出版社、医療・教育・法務・会計・ビジネスの専門家、次世代コミュニティの推進者、そして研究者の家族自身の有志が集まり、推進しています。2019年にNPOとしての産声を上げてから早くも1年。仲間と共に試行錯誤しながら歩んで参りました。

初年度は、ウェブサイトの立ち上げ、ニューズレターの発刊、国内外の研究者と家族が抱える課題の実態調査の実施、調査結果に基づく研究者家族留学支援イニシアチブ "Cheiron-GIFTS" の公募・評価、そして採択者への助成金交付と着実に歩みを進めることができました。困難を伴う組織体制の中、我々が揺るぎなく、より明るい未来を拓くことを信じ進んで来られたのは、皆様からの温かいご支援のお陰です。心より感謝申し上げます。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、研究者と家族を取り巻く環境は一層困難なものとなっています。研究留学を予定通り行えなかったり、すでに渡航されていた所から一時帰国を余儀なくされている研究者と家族もいらっしゃると思います。このような状況下であっても研究者と家族の留学等が諦められることのないよう後押しできるような行なったCheiron-GIFTSには予想を遥かに超える応募をいただき、さらに当法人の活動への大きな期待の声をいただくことができました。

皆さまからの温かい言葉を胸に、ケイロン・イニシアチブは、研究者と家族を精一杯支援し、その笑顔が未来のイノベーションを後押しするようさらなる活動に取り組んで参ります。今後も、倍旧のご愛顧とご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

NPO法人 ケイロン・イニシアチブ
理事長 足立春那

沿革

The collage features several pieces of media coverage:

- Top Left:** A logo for Cheiron Initiative featuring a deer with a bow and arrow, with the text "CHEIRON INITIATIVE".
- Top Center:** A headline in Japanese: "世界で初めてのユニークな取り組みに対する期待" (Expectations for a unique initiative first in the world).
- Bottom Left:** A magazine cover for "読売新聞 (4月2日夕刊)" (Yomiuri Shimbun, April 2nd Evening Edition) with the title "研究者の家族 助成金で支援" (Support for researchers' families with grants).
- Bottom Center:** A screenshot of the NHK News Web website (dated 2019年12月14日) with the headline "海外留学の研究者 子の教育など支援 新NPO法人設立" (New NPO established to support researchers abroad, including children's education).
- Bottom Right:** A screenshot of the Nature Digest website (dated 2020年4月) with the headline "留学者とその家族を支えたい！ ケイロン・イニシアチブの取り組み" (We want to support researchers and their families! Cheiron Initiative's efforts).

2020年

- 第10回 General Assemblyが開催されました (2020/6/7)
- 第1回留学デザインProgramをUJAと共催いたしました (2020/5/29)
- 連携団体のニューズレターUJA GAZETTEに当法人の活動が取り上げられました (2020/4/26)
- 4/25 UJA論文賞オンライン授賞式を共催させていただきます (2020/4/21)
- 第9回 General Assemblyが開催されました (2020/4/12)
- Natureダイジェスト (4月号) に理事長のインタビューが掲載されました (2020/4/1)
- Cheiron-GIFTS2020 (研究者家族留学支援イニシアチブ) の応募受付を開始しました (2020/4/1)

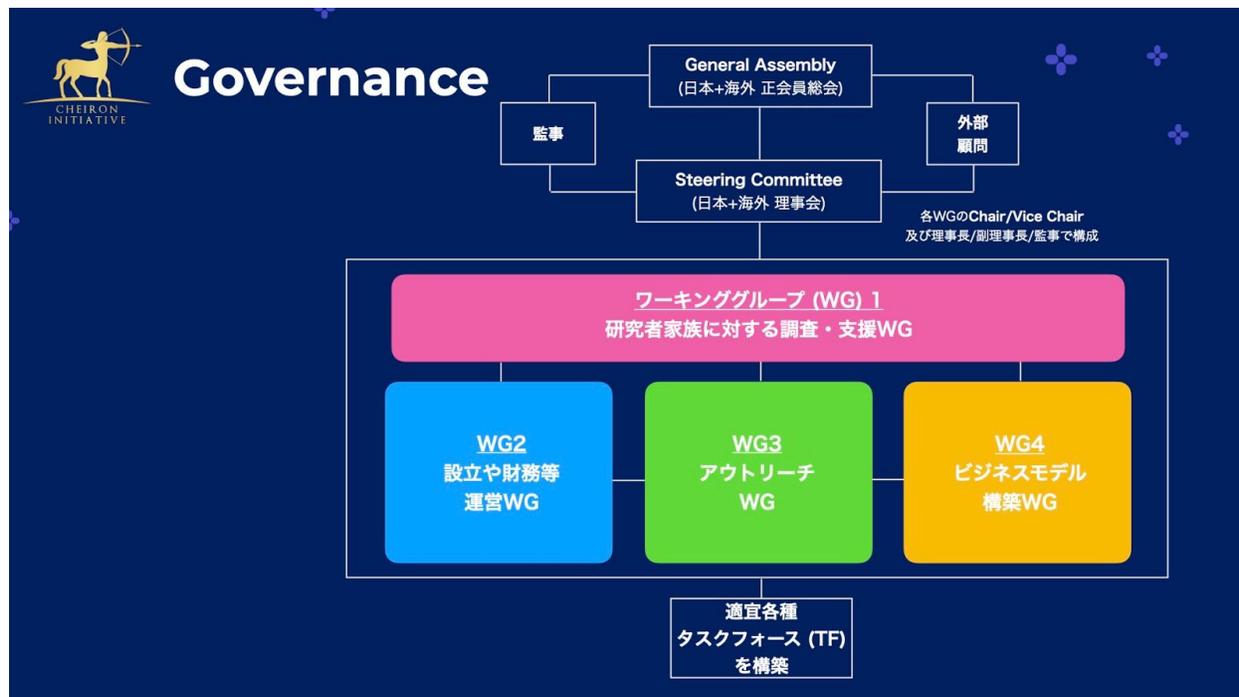
- 京都大学男女共同参画推進センターにCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/30)
- 慶應義塾大学日吉学術研究支援サイトでCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/28)
- 日経ビジネスでCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/27)
- 研究大学コンソーシアムでCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/26)
- 日本経済新聞 (紙面及びオンライン有料版) でCheiron-GIFTSが取り上げられました (2020/3/24)
- [プレスリリース] 研究者家族向け助成金制度「Cheiron-GIFTS (研究者家族留学支援イニシアチブ)」を創設し、2020年公募を4月1日より開始します (2020/3/13)
- 第8回 General Assemblyが開催されました (2020/3/1)
- 在仏日本人研究者意見交換会2020@在仏日本国大使館で紹介されました (2020/2/18)
- 第3回 Steering Committeeが開催されました (2020/2/9)
- 第7回 General Assemblyが開催されました (2020/1/5)

2019年

- LinkedIn「The Future of Japan」インタビューシリーズで取り上げられました (2019/12/15)
- NHKニュースでNPO法人ケイロン・イニシアチブが報道されました (2019/12/14)
- EMBA三田会でNPO法人設立を報告する講演会を開催いただきました (2019/12/13)
- 第2回 Steering Committeeが開催されました (2019/12/13)
- 京都大学セミナー「国際・学際的研究のフロンティアへの挑戦」で紹介されました (2019/12/9)
- 留学のすゝめ2019@日本分子生物学会で紹介されました (2019/12/5)
- 慶應義塾大学ジュニアドクター育成塾で紹介されました (2019/11/24)

- 第6回 General Assemblyが開催されました (2019/11/3)
- 研究者と家族の抱える問題を明らかにする実態調査が開始されました (2019/10/12)
- Midwest Research Conference 2019@ミシガン大学に協力させていただきました (2019/10/12)
- 第1回反分野的生物医療学会 (ABiSS) @鶴岡を後援させていただきました (2019/10/5-6)
- NPO法人として設立が認証されました (2019/9/30)
- 留学のすゝめ2019@日本癌学会で紹介されました (2019/9/28)
- 順天堂大学 第1回若手研究者コミュニティで紹介されました (2019/9/24)
- 未来研究トークで紹介されました (2019/9/20)
- 阪大若手研究フォーラムで紹介されました (2019/9/17)
- 第1回 Steering Committeeが開催されました (2019/9/13)
- 第5回 General Assemblyが開催されました (2019/8/16)
- 東京都にNPO法人申請を行いました (2019/7/17)
- 令和元年NCNP国際セミナーで紹介されました (2019/7/5)
- 設立総会 (第4回 GA) が開催されました (2019/4/12)
- 第3回 General Assemblyが開催されました (2019/6/1)
- 第2回 General Assemblyが開催されました (2019/4/12)
- 第1回 General Assemblyが開催されました (2019/2/27)

体制図



・ 研究者と家族に対する調査・支援を行うワーキンググループ (WG) 1と、財務や運営に関するWG2、アウトリーチに関するWG3、ビジネスモデル構築に関するWG4とが縦横の連携体制を構築しています。

・ 総会にあたる「General Assembly」を年3-4回開催し、メンバー全員が参加するとともに、WGを横断的に進められるプロジェクトについては、別途タスクフォース (TF) を構築します。

・ 理事会にあたる「Steering Committee」が法人全体の活動を主導し、外部顧問によるアドバイス、監事による監査を受けます。

・ 今後、海外での支援活動をさらに推進するため、欧州での支部設立等が検討されています。

外部顧問・役員・メンバー



Board of Big Picture



竹中 洋
京都府立医科大学
学長



久保 真季
東京大学国際高等研究所ニューロ
インテリジェンス国際研究機構
機構長特別補佐
沖縄科学技術大学
(OIST) 元副学長



水澤 英洋
国立精神・神経医療
研究センター 理事長



西川 朋子*
文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト
「トビタテ！留学JAPAN」広報・マーケティングチームリーダー



清元 ひでやす
姫路市長
東北大学元教授、医師・医学博士



久保田 絵里
株式会社メディアプロデュース CEO
慶應義塾大学大学院 Executive MBA

17
*個人として参加



Directors & Members

ビジョンを共有するのは国内外のアカデミア・企業の研究者、行政、研究助成機関、学術出版社、医療・法務・会計・ビジネスの専門家、次世代コミュニティの推進者、学生、そして研究者の家族自身です。



Haruna ADACHI
President
研究者の家族



Keigo KAINUMA
行政にて医療戦略を
推進・小児科医



Sae OHARA
研究者の家族
ダブリン在住



Ikuko OBA
学術出版社
Director



Alexandre DUPUIS
Strasbourg 日系企業
Director



Hiromi MIZUNO
地域創生に挑む
企業グループCEO



Takeya ADACHI
国際連携・異分野融合を
推進する研究助成機関



Yohei NATSUAKI
Skin Research Institute of
Singapore研究者・医師



Motoshi HAYANO
大学講師・老化研究者
ASG-Keio代表理事



Akio TOKUDA
公認会計士



Sara KOBAYASHI
インフォグラフィクス
動画クリエイター



Asami KOSAKI
Strasbourg 音楽院
鍵盤楽器奏者



Teruaki NAKAYAMA
P2P連携型決済プラット
フォーム企業CEO



Toshiaki TAKAHASHI
一般社団法人
Papa to Children 理事



Hideki MIWA
研究者・元ハーバード
大学訪問助教授



Hiroko SAKAI
医療研究開発助成機関
研究者家族



Yuyu Kamijo
学生メンバー
Strasbourg大学交換留学生



Shiho KASAHARA
Strasbourg 大学
芸術文化事業部



Kanoka KIMURA
学生メンバー
慶應義塾大学商学部



Akira Goto-Tajima
フランス国立保健医学研究
機構INSERM主任研究員



Aiko SADA
熊本大学准教授・
筑波大学客員准教授

(一部、2020年7月からの参加メンバーも含む)

各ワーキンググループ活動報告

I. 研究者家族に関する調査・支援ワーキンググループ

事業内容

この研究者家族に関する調査・支援ワーキンググループ（以下、調査支援WG）は、海外で生活する研究者家族に関する実情を調査し、その生活環境改善に向けた支援を行うことを目的としています。この目的を実現化するために、調査支援WGのなかで、さらに以下の3つのタスクフォースを設置し、それぞれに取り組みを進めてまいりました。

- 1、研究者家族が抱える課題を明らかにするためのアンケート調査
- 2、研究者家族留学支援イニシアチブ：Cheiron-GIFTS
- 3、研究者と家族が直面しうる諸問題に関する情報提供（Web発信）

（それぞれのタスクフォースの概要については、それぞれの項をご参照ください。）

これら3つのタスクフォースが連携し、当法人の活動の方向性を示し、法人内の各WGとの緊密な連携によって、当法人が目指す「研究者と家族の想いを世界の未来とつなぐ」ことが実現できるものと考え、事業を進めているところです。今後も研究者家族の生活における課題解決に向けた事業展開を構築してまいります。

WGメンバー

- Chair: 貝沼圭吾
- Vice Chair: 早野元詞、陰山卓哉
- 正会員メンバー: 夏秋洋平、箕畑俊和、三輪秀樹
- 学生会員メンバー: 橋本萌

タスクフォース1 アンケート

(早野さん)

事業内容・イベント報告など

○ 概要

国内外の研究者の家族が抱える課題を明らかにし、支援事業内容を具体的なものにしていくため、これから留学される予定の方、もしくはご経験のある方にアンケートを実施した。

231の有効回答を得て、そのうち研究者179名、研究者の家族52名の内訳であった。また回答者の居住地は59名が海外、172名が国内、回答者の多くは20~30代からの回答となっている。その多くが海外赴任の際に家族を同伴せずに単身で留学を行っており、費用が十分でないことが最も大きな問題があることが明らかになった。さらに留学・赴任先での情報が不足

していることもあげられる。

研究者の海外留学に帯同する家族には、金銭的・情動的支援が必要であり、その支援の対象としては、配偶者のキャリアパスや出産・育児・医療、子どもの教育が挙げられる。

- 参画メンバー
早野元詞、増村悠爾、大原彩衣、夏秋洋平、足立剛也
- 今後の展開
得られた回答から課題を抽出すると共に、フリー回答から得られている多くの個別課題を解析することでより細かなサポート体制の構築に活用する。

タスクフォース2 研究者家族留学支援イニシアチブ Cheiron-GIFTS

事業内容・イベント報告など

- 概要
現在約200万人いると推定される日本人研究者の家族の中には、配偶者のキャリアパスや子供の教育、親の介護等の問題で海外留学や研究継続を断念するというような不幸な「家族ブロック」の事例が少なくない。
Cheiron-GIFTS (Cheiron Grant Initiative for Families enabling Tomorrow's Science, 研究者家族留学支援イニシアチブ) は研究者の家族に向けた助成金制度として、家族に関する不安や懸念を払拭するとともに、日本の研究者が研究の場を海外に置き、安心して国際的な研究を推進できる環境を整備・支援することを目的として創設したものである。
なお、支援テーマを事業年度毎に設定することとしており、2020年のテーマは「研究者の家族の海外でのキャリアパスの問題」とした。
- 開催日時, 場所, 参画メンバー, 協賛情報など
評価委員
 - Non-reviewing chair : 陰山卓哉
 - Non-reviewing vice chair : 足立剛也
 - WG1^{*1}委員: 貝沼圭吾
 - WG2^{*2}委員: 大原彩衣
 - WG3^{*3}委員: 大場郁子
 - WG4^{*4}委員: 水野宏洋

※1 : 研究者家族に関する調査・支援ワーキンググループ
 ※2 : 設立や財務等を含めた横断的ワーキンググループ
 ※3 : アウトリーチワーキンググループ
 ※4 : 外部連携やビジネスモデル構築ワーキンググループ

外部顧問

- ・ 姫路市長 清元ひでやす
 - ・ 東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構 久保真季
 - ・ 株式会社メディプロデュース 久保田絵里
 - ・ 京都府立医科大学 竹中洋
 - ・ 文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」 西川智子(個人として参加)
 - ・ 国立精神・神経医療研究センター 水澤英洋
- 主な活動履歴等
 - 2020.03.13 公募予告(プレスリリース)
 - 2020.04.01 公募開始
 - 2020.04.30 公募終了(応募41件、うち重複2件を除く39件を受理)。
 - 2020.05.16 評価委員会
 - 2020.06.03 Steering Committee(採択決定)
 - 2020.06.17 採択通知発出
 - 2020.07.11 採択者の公開
 - URLなど
 - <https://www.cheiron.jp/grant>
 - 今後の展開
 - 継続的な実施に向けて、広報活動の充実と助成金額の拡充を推進する

タスクフォース3 Web等による情報提供

事業内容

○概要

研究者自身または家族が実際に体験した研究留学中の貴重な経験を収集し、情報提供する取り組みです。アウトリーチWGと連携して、当法人のWebサイトやニュースレター、SNS等を活用し、現在または今後研究留学に行く、または帯同していく研究者及びそのご家族に対して発信をしています。

初年度においては、17件の記事が発信され、その内容は、研究留学時の生活セットアップ、公的機関との手続き、留学先での育児・コミュニティー参加・教育、留学中の妊娠・出産といった研究者家族がいつでも直面する問題に関する実体験や、今年度の現状を反映するような新型コロナウイルスに伴って生じた問題のいくつかも紹介することができました。

今後も、こうした“いつでも起こりうること”や“その時々タイムリーな話題”の情報提供を依頼し、これからの研究者家族を支援しうる発信を継続してまいります。

II. 設立や財務等を含めた横断的ワーキンググループ

- Chair: 大原彩衣、アイルランド在住、元AMED難病研究課主幹
- Vice Chair: 徳田昭夫、公認会計士
- 正会員メンバー: 足立葉子、医療法人社団功仁会釧路皮膚科クリニック事務長
坂井寛子、研究助成機関勤務
森田樹理加、弁護士

事業内容・イベント報告など

- 法人設立・登記申請
- 規定・手順書策定（経理規定、定款施行細則、会員規定、寄付の取り扱い規定、役員報酬規程）
- 会員名簿、各種出納台帳、寄附者名簿の作成と整備
- 法人内出納手続きの確定
- 都民税(均等割)免除申請
- 年度末事業決算および各種申請
- 特例認定取得に向けての準備
- WG2 ミーティング開催

メンバーからのコメント

- より応援していただけるNPO法人を目指し、2021年秋の特例認定取得を予定しております。専門家が集まったワーキンググループ2がNPO運営のプロ集団となるべく、来年度も精進してまいります。

お知らせ

- 2021年秋の特例認定取得を視野に入れた東京都への事前相談、速やかな申請等を計画しています。

III. アウトリーチワーキンググループ

メンバー紹介

- Chair: 大場郁子 シュプリンガー・ネイチャー ディレクター、日経サイエンス取締役
- Vice Chair: アレクサンダー デュピュイ 日系企業フランス支部ディレクター
- 正会員メンバー: 小林沙羅 サイエンスイラストレーター/アニメーションクリエイター、笠原志保 ストラスブール大学芸術文化事業部勤務・アルザス補習校講師、小崎 麻美 ストラスブール音楽院古楽科学生・アルザス補習校講師・演奏家
- 学生会員メンバー: 上條優由 ストラスブール大学社会学部留学生、木村佳乃子 慶應義塾大学商学部学生

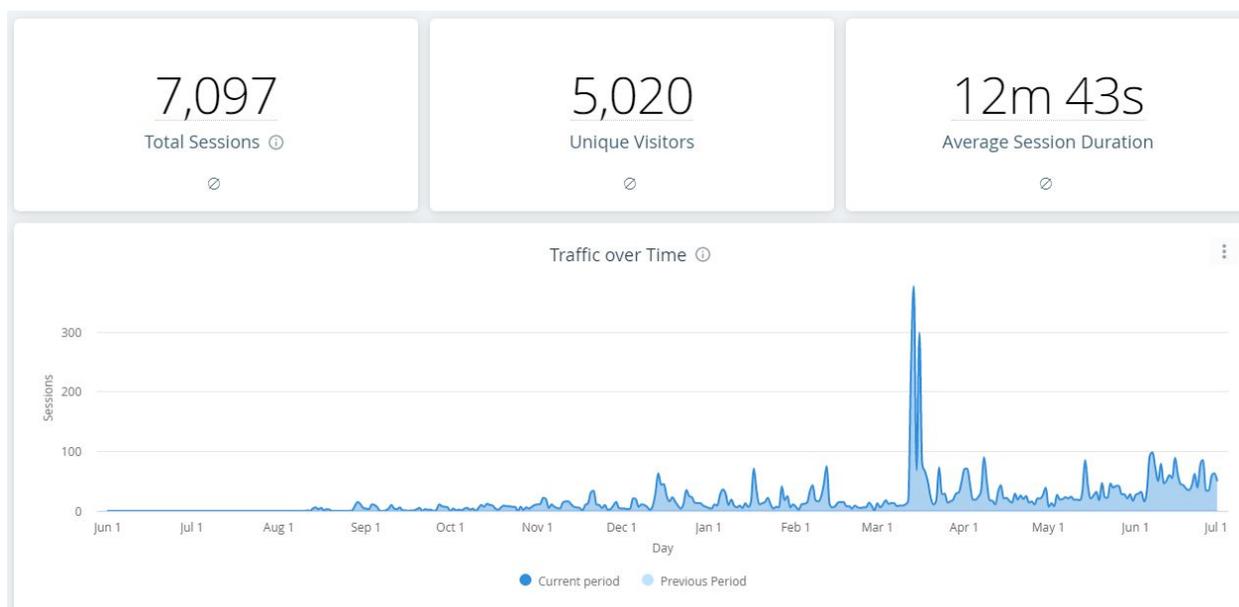
事業内容・イベント報告など

- 家族のカタチが多様化する現在、研究者と家族が抱える課題は複雑であり、その解決策も様々です。研究者の家族が直面した課題をいかに克服したか、過去の実体験に基づく解決策を地域別、課題別にわかりやすく共有する情報プラットフォーム cheiron.jp を構築しました。
- 初年度は、アメリカにおけるボストン、中西部、シリコンバレー、ヨーロッパにおけるフランス、アジアにおけるシンガポールからの体験談や情報共有に焦点を絞りました。
- Cheiron.jp掲載コンテンツをSNSやニュースレター等で幅広く共有しました。

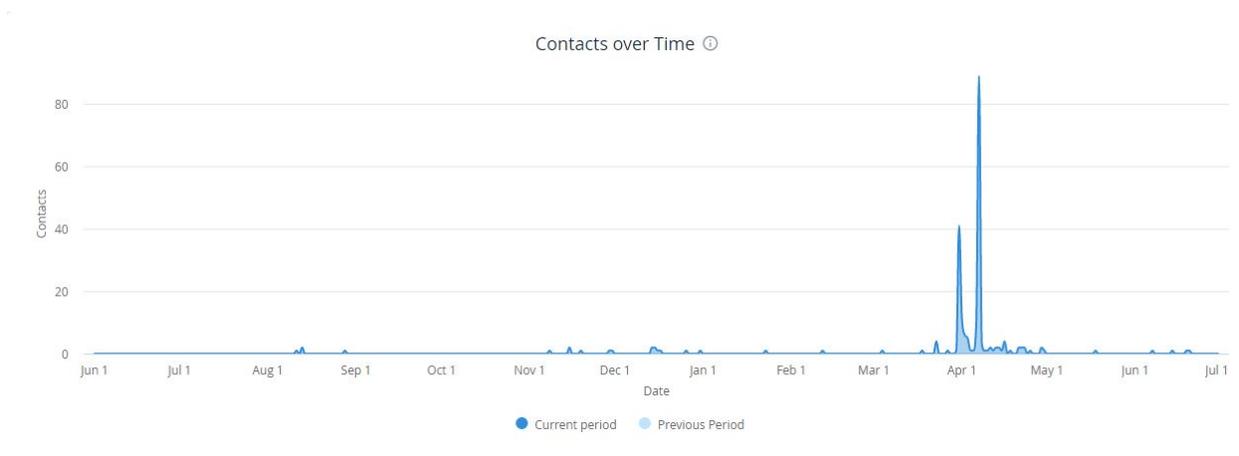
概要

- 情報プラットフォームの構築
- 掲載コンテンツ
 - ・ 体験談 14件
 - ・ 研究情報 18件
 - ・ ニュース 19件
 - ・ お役立ちリンク 19件
- ニュースレター登録者 231名
- アクセス状況
 - ・ サイト開設の2019年8月11日から2020年6月30日までのアクセスは、5,200人のユニークビジターにより、合計7,097回のアクセスを獲得しました。（図III-1）
 - ・ ソーシャルメディア等での拡散、その他メディアで記事に取り上げられた結果、本活動の認知度が向上し、2019年12月頃からアクセスの伸びが見られます。その後、4月に開始したCheiron-GIFTSによりサイトへのアクセスは一気に200-300回/月まで上昇しました。ニュースレター登録者の大半がこの時期に登録されています。（図III-2）
 - ・ Cheiron.jpへのアクセスソースを見ると、ダイレクトアクセスが1,807件と最も多く、Facebook（1316件）やTwitter（1076件）も多くのアクセスを呼んでいます。（図III-3）
 - ・ 国別には、日本はもちろん、フランス、アメリカ、シンガポール、イギリス在住者のコンテンツが掲載されていることから、アクセスも同様の傾向が見られます。サイトの平均滞在時間は12分と長く、最もアクセスされているページがCheiron-GIFTSの案内ページでした。（図III-4）
 - ・ 最もアクセスが高いページはCheiron-GIFTSの案内ページで1,918回でした。記事の中で圧倒的に読まれたものが1,520回のアクセスを獲得した「研究者と家族がともに幸せな人生選択をするには：ある若手研究者の悩みと決断」でした、妊娠に関する記事2報もそれぞれ300回を超えるアクセスがありました。国別・課題別リンク集も340回のアクセスがありました。（図III-5）

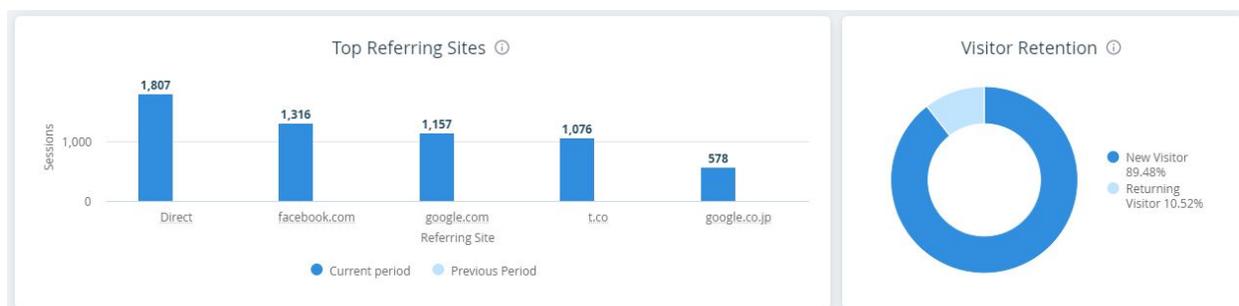
図III-1. Cheiron.jpの年間アクセス数



図III-2. ニュースレターへの登録数



図III-3. Cheiron.comのリファールソース



図III-4. 国別アクセス

○ ニュースレターの配信

- ・ 初年度は、Cheiron-GIFTSの設立を報告するために、ニュースレター第一号を配信しました。ニュースレター登録者を含む約191名への配信を行いました。
- ・ 第一号の配信は、Gmailアカウントから実施しましたが、配信成功率、開封率等の数値が取れないだけでなく、表示が受信者の環境に依存する、誤送信のリスク軽減が難しい等の課題もあることから、次回以降は情報プラットフォームであるWixの機能を活用することにしました。

2020年3月号

【ニュースレター】研究者とその家族を財政的に支援するための助成金制度 Cheiron-GIFTS の公募開始！

CHEIRON INITIATIVE

研究者の家族の笑顔には、明日を変える力があるから

Cheiron-GIFTS
Cheiron Grant Initiative for Families
enabling Tomorrow's Science
Illustration: Sara Kobayashi

研究者とその家族を財政的に支援するための助成金制度「Cheiron-GIFTS」を4月1日より公募開始します。

初回である2020年は、「研究者の家族の海外でのキャリアパス問題」という支援テーマで募集予定です。Cheiron-GIFTSは、日本国外の大学や研究機関に所属または所属しようとしている研究者に帯同する家族を対象とした助成金制度です。基礎科学、先端科学、思想・芸術などの分野において幅広く世界で活躍することを目指す研究者を、その家族と共に支援します。

詳細についてはこちら↓
<https://cheiron.jp/grant>

Pick up

新着体験談

- ・ **研究者と家族がともに幸せな人生選択をするには？** (3月8日掲載、ニューヨーク)
研究キャリアとライフイベント。どちらも大切だが、留学、結婚、出産のタイミングに思い悩む。ある若手研究者の決断とは？
[記事を読む](#)
- ・ **イギリスでの日本人同士の日本方式での婚姻手続** (3月4日掲載、ロンドン)
留学先のロンドンで婚姻手続。姓や本籍地が変わるため、パスポートや在留許可カードなどの様々な変更手続きのノウハウを紹介！
[記事を読む](#)

ケイロン・イニシアチブでは、海外在住研究者家族の様々な体験談を募集しています。
お知り合いの研究者仲間やその家族にもケイロン・イニシアチブをご紹介ください。
ニュースレターへのご登録もお待ちしております。

ニュースレター配信停止、登録変更に関しては、editor@cheiron.ioまでご連絡ください。

©NPO法人ケイロン・イニシアチブ フライバスターポリシーについて

[@Cheironjp](#) [@cheironjp](#) [Cheiron-Initiative](#)

○ ソーシャルメディアによる広告

- ・ 2020年6月には、Cheiron-GIFTSの授賞式が開催される「Japan XR Science Forum」の有料広告をFacebookとTwitterに出稿しました。これにより、イベント登録サイトのみならず、広告出稿元であるCheironアカウントにもアクセスが得られ、6月のアクセスも12-3月の通常時期より高くなりました。

- Facebook（認知度目的）
 - 総額 1,007円
 - インプレッション 19,593回
 - リーチ 12,744人
 - 想定広告想起人 430人
 - 一人当たり単価 3円
- Twitter（フォロワー獲得目的）
 - 総額 4,039円
 - インプレッション 30,804回
 - 獲得フォロワー数 25人
 - 一人当たり単価 161円



Cheiron Initiativeさんは **UJA (United Japanese Researchers Around the World)**さんと一緒にいます。

[プレスリリース] Cheiron Initiative と UJA (United Japanese Researchers Around the World) は、世界で初めて研 ... もっと見る

あなた、足立 剛也... シェア34件

いいね! コメントする シェア



Cheiron-Initiative @Cheironjp · 6月15日

[プレスリリース] @Cheironjp と @uja_info は世界で初めて研究者と家族が参加するバーチャルリアリティ学会を7月12日に開催します。無料参加登録はこちら↓ japanxr-science-forum.org

#JapanXR_SF #仮想現実 #Cheironjp #uja_info #細胞 #免疫 #HFSP #AMED #JST #アメリカ大使館 #在シカゴ総領事館

○ プレスリリース

・ 1報作成、配信

「NPO 法人ケイロン・イニシアチブは、研究者とその家族を財政的に支援するための助成金制度Cheiron-GIFTS を創設 - 配偶者キャリア・子供の教育など家族の問題で留学や研究継続を断念する研究者に新たな光-」2020年3月13日

報道実績

- 日経新聞 3月23日科学技術面
- 読売新聞 4月2日
- Nature ダイジェスト 4月1日 理事長インタビュー記事

2020年7月12日、海外日本人研究者ネットワーク (UJA) と合同主催でオンラインでの開催を予定する。

共催：ノースウェスタン大学日本人研究者の会 (NUJRA)、Eureka Science School、日本医療研究開発機構 (AMED)

後援：在シカゴ日本国総領事館、US Embassy in Japan、科学技術振興機構 (JST)

XR Partner：VR法人Hikky

協力：株式会社メディプロデュース、Microsoft Project Users Forum (MPUF)、慶應義塾大学殿町タウンキャンパス、慶應義塾大学医学部体育会ヨット部、東京大学VR研究センター、国立科学博物館、一般社団法人慶應反分野的サイエンス会 (ASG-Keio)、免疫アレルギー疾患研究10か年戦略次世代タスクフォース ENGAGE

協賛：大鵬イノベーションズ、ブリストルマイヤーズスクイブ、Leo Science & Tech Hub、インディアナ日本人会、アステラス製薬、近畿大学、慶應イノベーションイニシアティブ、大鵬製薬、ブロックバスター東京、など

- URL：<https://www.japanxr-science-forum.org>
- 今後の展開：バーチャルリアリティ世界での3Dアバターを介した講演、Cheiron-GIFTS贈呈式、ノーベル賞受賞者からのビデオメッセージなどを予定。

留学 "デザイン" Program

- 概要
新型コロナウイルスの感染拡大により、短期留学・海外研修を断念せざるを得なかった高校生を主な対象に、自らの手で留学をデザインする、をテーマに行われた次世代留学プログラム。東京都私立駒場東邦高等学校、愛知県私立東海高等学校、熊本県立熊本高等学校の学生とOBが中心となって開催された。



- 開催日時, 場所, 参画メンバー, 協賛情報など
2020年5月29日、海外日本人研究者ネットワーク (UJA) と合同主催、発明塾の協力のもとオンラインで第一回ワークショップを開催。

講演者：足立剛也 (フランス国立科学研究センター・ストラスブール大学客員教授)

タイトル：二十八のノーベル賞の土壌：高校で留学できなかった僕が、20年後にフランスでつかんだもの

- URL : <https://cheironinitiative.wixsite.com/ryugaku-design>
- 今後の展開 : 参加した学生は、Slackでのディスカッションを継続する。第二回ワークショップは、7月末日に文部科学省トビタテ！留学JAPAN広報・マーケティングマネージャーの西川朋子氏 (個人として参加) を招待して開催予定。

スポンサー

- 夏秋皮膚科クリニック
- 医療法人社団功仁会

連携団体

(研究者コミュニティ)

- 一般社団法人海外日本人研究者ネットワーク (UJA)
- 一般社団法人慶應反分野的サイエンス会 (ASG-Keio)
- 大阪大学若手研究者フォーラム
- ミシガン金曜会

(コミュニケーションコミュニティ)

- MJC (Mojule Joint Coin)
- 発明塾

(教育コミュニティ)

- TCK Work Shop
- アルザス補習授業校 (ストラスブール)

(学生コミュニティ)

- フランス留学学生会



2019年度決算報告書

2019年10月11日～2020年6月30日

(2019年7月1日～10月10日まではNPO法人設立前の任意団体として活動)

活動計算書

2019年10月11日から2020年6月30日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	140,000	
学生会員受取会費	15,000	155,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	1,301,166	1,301,166
経常収益計		1,456,166
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
人件費計	0	
(2)その他経費		
支払手数料	6,007	
支払助成金	850,000	
その他経費計	856,007	
事業費計		856,007
2. 管理費		
(1)人件費		
人件費計	0	
(2)その他経費		
消耗品費	8,480	
支払手数料	90,934	
その他経費計	99,414	
管理費計		99,414
経常費用計		955,421
当期正味財産増減額		500,745
設立時正味財産額		0
次期繰越正味財産額		500,745

貸借対照表

2020年6月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	499,752		
未収金	7,000		
流動資産合計		506,752	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			506,752
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,007		
流動負債合計		6,007	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			6,007
III 正味財産の部			
設立時正味財産額		0	
当期正味財産増減額		500,745	
正味財産合計			500,745
負債及び正味財産合計			506,752

謝辞

協賛・寄付をいただいた企業・団体・個人の皆様へ

ケイロン・イニシアチブの活動は、活動の趣旨にご賛同いただいた多くの皆様からのご支援によって支えられています。

さらに多くの日本人研究者と家族を応援すべく、ご支援をお願い申し上げます。なお、ご支援いただいた方につきましては、その貢献に謝意を表すため、以下のいずれかのような形で、当法人の広告媒体において適宜掲載させていただきます。

1. 当法人ウェブサイトパートナーページへのロゴ掲載
2. 当法人ウェブサイトパートナーページに掲載されたロゴの下に説明文
3. 当法人ウェブサイトトップページへのロゴ・バナー掲載＋パートナーページに掲載されたロゴの下に説明文

上記に加えて、研究者家族助成金贈呈式におけるご紹介等。



**あなたも
研究者のカゾクの一員
になりませんか？**

NPO法人ケイロン・イニシアチブは、2030年に向けて世界が取り組む持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、将来的にサイエンス (SDG3,9)・家族支援 (SDG4,5)・市民参画 (SDG8,17) 等に関する様々な事業を国内外にわたって展開することで、広く日本を含めた国際社会に貢献していきます。ビジョンを共有する新しい仲間、次世代を担う学生の方を募集しています。また、当法人の目的に賛同し、活動を支援してくださる個人・団体・企業の皆さまの参加・協賛・寄付をお待ちしております。

www.cheiron.jp

info@cheiron.jp

ケイロン・イニシアチブはさらなる日本人研究者と家族との繋がり、絆を深め、産官学民連携を通じて、日本のサイエンス発展に貢献していく所存です。我々の活動にどうかご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

NPO法人ケイロン・イニシアチブ
副理事長 足立剛也